



聞き書き 近江町市場・今昔 その3

江戸時代 魚類の流通

井沢 宏夫 (金沢市・内科)

私が生まれた村では、湧水を利用した簡易水道が敷かれていた。半世紀ほど前のことだ。しかし、戸数が百ほどの集落に、道端から突き出した蛇口が十カ所ほど散在するだけで、とても便利とは言えない代物だった。加えて、何らかの理由で壊れたのだろう、ある時からすべての家が、集落の裏手にある湧水の貯水槽まで水汲みに出かけるようになってしまった。各家には屋内であれ屋外であれ、それぞれ井戸があるから雑用の水には困らないものの、飲料用の水には難儀してしまったのだ。

我が家でも祖母や母が、天秤棒の両端にバケツをぶら下げて湧水を運んだ。私も少し大きくなると駆り出された。何かで見たアフリカの子どもほど遠距離ではないが、毎日続く水汲みは、結構きつくて嫌

通機構をきちんと統制管理したため、領内各地で漁獲された魚類は、確実に近江町市場の問屋へ集められた。

金沢近郊の宮腰(金石)、元吉(美川)、相河、安宅浦、また大野、栗崎、根布、荒屋、高松浦などを始め、能登では七尾、輪島あたりの内外浦からも運ばれた。富山県では、水見、放生津、岩瀬、魚津からも年中毎日運送されたという。

魚津などは遠隔地にかかるわらず、漁獲量の内、鰯は三分の一、雑魚は三分の二を金沢へ運ばせ、残りを地元で販売させた。地元で売りさばいた分については、漁師は売買税(魚口錢)を

支拂っていた。この場所で販売される魚は、さば、いわし、ふぐ、たちうお、くのがいじらしい。それで

必要だった。藩は魚類の種類によつて六~八%の

売買税(魚口錢)を徴収した。

いかになどであつたが、屋や振り売りによって庶民

に売られる魚類の種類に

魚屋で売られる魚は、さば、いちいち最初に「こ」がつ

たりでは魚類の抜荷が頻

り、自由に金沢へ運ぶ

ものが絶えず、藩は取り締まりに苦労したようだ

ある。

このころの加賀藩の武士

の生活については、「武士の家計簿」(新潮新書)に

詳しく書かれていて面白い。

そして明治に入り、市場

の状況は一変した。

原稿募集

趣味や旅行記、医療・福祉に関してや平和、環境問題についてなど、会員寄稿をお待ちしています。事務局の杉野までご連絡ください。076(222)5373

会員リレーエッセー ◆◆154◆◆

湧水だつたが

平田 米里 (野々市市・歯科)

今は金沢近郊に暮らし、水道水を沸かしてお茶を飲んでいる。まずいと思ったことはない。生活も便利になった。しかし里帰りすると、わざわざ湧水を飲みに行くことがある。子どもや孫を連れての行き帰り、ここで遊んだ。この小川で洗濯した。ここらあたり一帯はホタルが乱舞した・・・と話してやる。それに湧水はやっぱり夏は冷たく冬は温かいし、飲んだが、なかなか難しいもんだと感じる。

昔の生活は貧しかったが、魚や野菜、そして米や

水はそれなりに安全でおいしかった。子どもの時は

有難さも分からなかつたが、自然の中で自由に遊べる場所がどこにでもあつた。そして、今もなんとか

残っている。だが、福島はどうだろうか・・・。

数独

二重枠(2つあります)に入った数字の合計はいくつになるでしょう。

[ルール]

①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。

②タテ列(9列あります)、ヨコ列(9列あります)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つあります)のどれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

(答え2面)

パズル制作/ニコリ

SUDOKU

8	9		3		5			
	5			1				
7	2	4	9		6			
	8	9			1			
7	6			8	2			
1			6	4				
	1		8	2	4	6		
	3			5				
2		1		7		3		

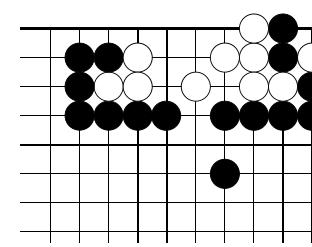
囲碁

初級編

■出題 九段 石榑郁郎

黒先 5分で1、2級以上

〈ヒント〉ダメツマリをとがめて仕留めます。



(解答は2面にあります)

将棋

初級編

■出題 九段 西村一義

6	5	4	3	2	1			
金	歩	王				一	二	三
歩	馬					四	五	六
角								
角								
香								

持駒 なし

〈ヒント〉香が威力を發揮……。10分で2級

(解答は2面にあります)